

# 利賀っ子だより



R5. 1. 31

## ○ 「続ける」ということ

3学期の始業式に今年度の重点目標である「挑戦」を「続ける」ことを意識して過ごしてほしいことを話しました。

先日、3・4年生が「校長先生、私たち、続けているんです。」と声をかけてきました。体育の時間に練習している縄跳びを休み時間にも練習しているというのです。始業式の話聞き、それを実行に移していることが嬉しかったです。「続けて練習しているから、太ももが筋肉痛。」「その分、足が強くなっているんですね。」「二重跳びがもうすぐできそう。」などと話していました。

その日の昼休み時間に3・4年生の教室をのぞいてみると、やはり縄跳びの練習をしている3・4年生がいました。「続ける」ことは、時には、嫌になることがあるかもしれませんが、3・4年生のように声をかけ合いながら楽しむことは、長く続ける秘訣だとあらためて感じました。



【こんなに上手になったよ。】



【ベルリラ 難しいね。】

鼓笛演奏の引継ぎをし、新しい楽器やパートを担当することになった子供たち。その日の練習の後、2年のIさんが「放課後に自主練習を続けます。」と楽器を持ち帰る準備をしました。その様子を見ていた1年生。「ぼくも続けます。」と楽器を手にしました。

新しい楽器やパートを任せられたという自覚が、よりよい自分を目指して続けようとする意欲になっているようです。

クラブ活動の一環として地域にお住いの「谷帽子」の谷さんと帽子づくり体験をする予定です。

その事前学習に谷さんが自己紹介を兼ねて、帽子づくりを始められたきっかけをお話してくださいました。その中で「帽子づくりを続けることが目標であり、挑戦」と語っておられました。

一つ一つに名前が付いた帽子を前にものづくりに対する思いを真剣にお話してくださる谷さんのお姿に、仕事に対する思い、生き方等、子供なりに感じるものがあつたようです。また、谷さんからも「挑戦」「続ける」という自分たちの目標と重なるお言葉を聞いたことで、毎日の活動の積み重ねを大切にしていけることを再確認できた素敵な時間でもありました。

帽子づくり体験の日には、作品の作り方だけでなく、たくさんの学びがあることと思います。



【帽子は、お客さんに合わせて直します】

(高田 公美)